

新科学館整備事業の公共事業評価について

1 事業概要

児童文化科学館は、年間約10万人の方に利用されている市内唯一のプラネタリウムを備えた施設である。

開館から50年以上経過し、老朽化が著しいことから、東田地区へ移転整備することとしており、最有力候補地はスペースワールド跡地（イオンモール新施設敷地内）の東田二丁目交差点近傍地である。

候補地は立地環境が良いことから、展示やプラネタリウムを中心とし、市内の子どもをはじめ、国内外からの観光客など多くの方に来ていただける施設を目指す。

また、教育普及機能などコンセプトが類似している北九州イノベーションギャラリー（KIGS）を最大限活用し、一体的に整備を行う。

2 事業内容

- | | |
|----------|------------------------------------|
| (1) 事業箇所 | 八幡東区東田四丁目1番101 |
| (2) 事業期間 | 平成30年度～令和3年度 |
| (3) 事業費 | 2,839百万円 |
| (4) 施設規模 | 8,666㎡
(新施設：5,470㎡、KIGS：3,196㎡) |

3 事業スケジュール

平成30年度	基本計画
令和元年度	基本設計
令和2年度～令和3年度	実施設計、工事

4 今後の予定

令和元年12月17日	公共事業評価に関する検討会議（外部評価）
令和元年12月27日 ～令和2年1月27日	市民意見の聴取（パブリックコメント）
令和2年2月上旬（予定）	常任委員会報告